



SDP 透過性プロファイルの設定

- [SDP 透過性プロファイルの概要 \(1 ページ\)](#)
- [SDP 透過性プロファイルの制限 \(1 ページ\)](#)
- [SDP 透過性プロファイルの前提条件 \(2 ページ\)](#)
- [SDP 透過性プロファイルの設定 \(2 ページ\)](#)

SDP 透過性プロファイルの概要

SDP 透過性プロファイルには、宣言的な SDP 属性のルールがセットが含まれており、これによりシステムは、Unified Communications Manager によってネイティブにサポートされていない宣言属性を、入口から出口コール区間に渡すことができます。SDP 透過性プロファイルがないと、Unified Communications Manager は、サポートされていない SDP 属性を削除します。

複数のルールを使用して SDP 透過性プロファイルを設定し、SIP プロファイルを介して SIP デバイスに適用することができます。SDP 透過性プロファイルを適用するには、両方のコールログが SIP である必要があります。次のタイプの SDP 属性ルールを設定できます。

- [プロパティ (Property)] : プロパティ属性にルールが設定されている場合、属性に値が設定されていない限り、Unified Communications Manager は SDP 属性をパススルーします。
- 任意の値 : ルールが任意の値に対して設定されると、値が1つ以上の空白以外の文字で構成されている限り、SDP 属性はパススルーされます。
- リストからの値 : ルールがこのオプションを使用して設定されると、値が指定された値のいずれかに一致する限り、SDP 属性はパススルーされます。可能な値を5個まで設定することができます。

SDP 透過性プロファイルの制限

SDP 透過性プロファイルには次の制限が適用されます。これらの状況のいずれかが出力コールログに発生すると、Cisco Unified Communications Manager は宣言型 SDP 属性を通過させません。

- パススルーをサポートしていない、1つ以上のメディアターミネーションポイント (MTPs) またはトラステッドリレー ポイントが割り当てられます
- [メディアターミネーションポイントが必要 (Media Termination Point Required)] チェックボックスを、SIP トランク用にチェックします
- トランスコーダが使用されます
- RSVP が使用されます
- 入力コールレグではディレイド オファーが使用されている一方、出力コールレグではアーリー オファーが使用されている場合。
- メディアの回線は拒否されました (port=0)
- いずれかのコールレグが、SIP 以外のプロトコルを使用している場合

SDP 透明性プロファイルの前提条件

サードパーティ SIP 製品の導入を計画している場合は、製品がセッション記述プロトコル (SDP) を実装する方法を理解していることを確認してください。

SDP 透過性プロファイルの設定

Cisco Unified Communications Manager がネイティブでサポートしていない宣言型 SDP 属性のルールセットを使用して、カスタマイズされた SDP 透過性プロファイルを設定します。

手順

- ステップ 1 Cisco Unified CM Administration から、[デバイス (Device)]>[デバイス設定 (Device Settings)]>[SDP透過性プロファイル (SDP Transparency Profile)] を選択します。
- ステップ 2 [新規追加] をクリックします。
- ステップ 3 [Name] と [Description] を入力します。
- ステップ 4 [属性情報 (Attribute Information)] ペインで、パススルーする SDP 属性のルールを作成します。
 - プロパティの属性をパススルーするには、[名前 (Name)] テキストボックスに「a=recvonly」などの属性を入力し、[タイプ (Type)] ドロップダウンリストから [プロパティ (Property)] を選択します。
 - 値属性をパススルーするには、[名前 (Name)] テキストボックスに属性 (たとえば a=rtptime) を入力し、[タイプ (Type)] ドロップダウンリストボックスから [値 (Any Value)] を選択します。
 - 最大 5 個の値のいずれかを指定した値の属性をパススルーするには、[名前 (Name)] フィールドに「a=rtptime」などの属性を入力し、[タイプ (Type)] ドロップダウンリスト

から [任意の値 (Any Value)] を選択します。[結果値 (value)] テキストボックスに、属性の値を入力します。[+]をクリックして、この属性に最大5つの値を追加できます。

ステップ5 この透過性プロファイル用に追加の SDP 属性を入力できる新しい行を作成するには、[+] をクリックします。

ステップ6 [保存] をクリックします。

(注) SIP プロファイルを使用するデバイスが SDP 透過性プロファイルを使用するには、このプロファイルを SIP プロファイルに適用する必要があります。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。